

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
Q304	日本文化論	3年	講義	2	石井誠
<b>授業概要</b> 外国から日本を訪れる観光客が増加している。栃木県にも多くの観光資源がある。本講義は、日本文化の特質について、歴史的・地域的分析を軸に、体験的に学修することを目的とする。そのため、本県の観光資源としての日光・那須等を事例とし、日本の伝統文化である古典文学・古典芸能・茶道・華道・作法等の成立や発展、基本的所作の体験的学修を進め、日本文化への理解を深めることを目指す。全体の担当教員は石井となっているが、各回専門講師を招き、実技体験などを受けることができる。					
<b>到達目標(学習の成果)</b> ・日本文化についての理解が深まり、質問を受けた時に説明することができる。(DP2「情報力」) ・日本文化紹介を観光業に結びつけるとき、どのようなことができるか、その問題点、対応策を見つけ出す能力が身につく。(DP3「問題解決力」)					
<b>授業計画</b>					
回	表題	学修内容			
1	日本文化の基底	日本人、日本文化とは何か、日本語論 (担当:石井誠)			
2	日本の風土と自然観	日本の風土と栃木の自然、観光資源としての自然環境 日光と那須の自然 (担当:鈴木健一)			
3	日本人の宗教観	日本神話、八百万の神、日本人の死生観、 二つの二荒山神社、東照宮 (担当:鈴木健一)			
4	日本人の住空間	村と町の成立史、町づくりの特色 (担当:鈴木健一)			
5	宇都宮の町づくり	宇都宮の町づくりの歴史、城下町、門前町 (担当:寺内由佳)			
6	文学に見る人間観	「奥の細道」、無常観、俳句 「奥の細道」と芭蕉の栃木県での足跡、遊行柳 (担当:石井誠)			
7	日本料理	日本料理、和菓子、もてなしとは何か (担当:安野耕造)			
8	茶道の作法	茶道体験、御点前とは何か (担当:戸倉哲仙)			
9	日本の衣服	きものの文化、草木染め、宮染め(注染) (担当:齊藤知子)			
10	現代生活といけばな	いけばなの成立と変遷、いけばな体験 (担当:栗原月華)			
11	邦楽	日本の伝統音楽 鑑賞、体験 (担当:福田智久山)			
12	古典芸能に見る人間観	文楽・歌舞伎の成立と発展、世話物筋書 (担当:内藤英二)			
13	古典芸能と民俗芸能	能・歌舞伎文化の地方普及、烏山山あげ祭、佐野歌舞伎 (担当:内藤英二)			
14	新しい日本文化 グローバル化するサブカルチャー	浮世絵、漫画からアニメ、ゲームへ 日本発のサブカルチャーの成立とグローバル化の背景 馬頭広重美術館、ご当地キャラクター(とちまるくん) (担当:石井誠)			
15	文化の継承、発展 日本文化論総論	伝統文化の継承と発展・変質について、武道、忍者ブーム、日光江戸村 「日本文化論」総括 (担当:石井誠)			

### 準備学修(授業外の自己学修)

実技体験の回も含め、授業計画に示された学修内容に沿って準備学修を深めておくこと。特に、キーワードや専門用語については、図書館所蔵文献やネット情報等を活用し、確実に調べておくこと。レポート・受講態度により到達目標の実現を図るので、準備学修を確実に実施すること。

### 成績評価の方法・基準(%表記)

講義の中で3回ほど課題を提出してもらう予定である。その課題が各20%。期末試験が40%。

観点	S	A	B	C
日本文化に関する理解	適格に説明できるほど十分理解している	理解している	ほぼ理解している	ある程度理解している
日本文化を観光業に結びつける方策	自分自身で積極的に対応できる	何人かと相談すれば対応できる	助言を受けると対応可能	主体的に対応することが難しい

### 教科書

特になし(必要に応じてプリントを配布する)

### 参考書等

『日本文化入門—その基層から美意識まで』、板垣俊一著、武蔵野書院、2016年、2,484円

『風土—人間学的考察』、和辻 哲郎著、岩波文庫、1979年、1,036円

『日本を学ぶ 東日本編』、上野和彦他著、古今書院、2017年、3,024円

『日本を学ぶ 西日本編』、上野和彦他著、古今書院、2017年、3,024円

『観光学と景観』、溝尾良隆著、古今書院、2011年、3,456円

『日本宗教史』、末木文美士著、岩波新書、2006年、864円

『概説日本思想史』、佐藤弘夫著、ミネルヴァ書房、2005年、3,456円

『日本史小百科・神道』、伊藤聡著、東京堂出版、2002年、2,700円

『日本文化の歴史』、尾藤正英著、岩波新書、2000年、907円

『関東Ⅱ 地図で読む百年』、寺阪昭信他著、古今書院、2003年、3,024円

### 履修上の注意・学修支援

実技体験の時間なども設定しているため、欠席はもちろん遅刻・早退も避けること。講義の世話人は石井が担当するので、課題等は必ず期限までに石井に提出すること。受講上の疑問や講義内容に関する質問がある場合は、講義前後に問い合わせると共に、オフィスアワーなどを利用し、積極的に問題解決に努めること。